

# 平成 16 年 9 月 期 第 1 四 半 期 業 績 の 概 況 ( 非 連 結 )

平成 16 年 1 月 21 日

会 社 名 **太洋物産株式会社**

(コード番号：9941 登録銘柄)

( U R L <http://www.taiyo-bussan.co.jp> )

本社所在都道府県 東京都

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 柏 原 弘

問 い 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 総務部長

氏 名 宮 内 敏 雄

T E L : ( 0 3 ) 5 4 0 2 - 8 1 8 1

## 1 . 四 半 期 業 績 の 概 況 の 作 成 等 に 係 る 事 項

売上高の会計処理の方法の最近事業年度における認識の方法との相違の有無：無

## 2 . 平 成 1 6 年 9 月 期 第 1 四 半 期 業 績 の 概 況 ( 平 成 1 5 年 1 0 月 1 日 ~ 平 成 1 5 年 1 2 月 3 1 日 )

### (1) 売 上 高

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

	百万円	%
16年9月期第1四半期	16,032	
15年9月期第1四半期		
(ご参考) 15年9月期	63,397	

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、前年同四半期比増減率。

3. 当社は、当四半期から四半期における業績の開示を行っておりますので、前年同期における売上高及び前年同四半期比の増減率については「 」で表示しております。

### [ 売上高に関する補足説明 ]

当第1四半期までの我が国経済は、企業における設備投資は回復基調にあったものの、デフレは依然解消されず、また、個人消費も力強さに欠け、景気は総じて低調に推移いたしました。

当社取扱の商品におきましては、プロイラーにおいては中国産の輸入解禁による価格の下落、牛肉・食品用大豆、菜種の内外価格の高騰等、前事業年度に引き続き価格変動の激しい環境にありました。

このような環境下、当社は取扱商品への付加価値を高める等、積極的な事業運営を行ってまいりました。この結果、特に価格が高値圏で推移していた農産部における食品用大豆、食糧部における牛肉の売上高が好調に推移し、また、昨年から注力している「中国向け輸出」についても堅調であったことから、当第1四半期の売上高は16,032百万円となりました。

なお、事業部門別の売上高は、以下の通りであります。

部門別	期 別	平成 16 年 9 月 期	平成 15 年 9 月 期 ( 通 期 )
		第 1 四 半 期	( ご 参 考 )
		百万円	百万円
農 産 部		4,587	18,329
食 糧 部		7,731	33,792
生 活 産 業 部		1,041	3,550
産 業 機 材 部		2,672	7,725
合 計		16,032	63,397

(注) 当第1四半期から、「食糧部」に計上しておりました「米穀・麦」は、「農産部」に計上しております。

### (2) 当該四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

## 3 . 平 成 1 6 年 9 月 期 の 業 績 予 想 ( 平 成 1 5 年 1 0 月 1 日 ~ 平 成 1 6 年 9 月 3 0 日 )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 配 当 金	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中 間 期	30,000	120	65	0	00
通 期	65,000	300	165	6	50

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円67銭

(16年9月末の予想期中平均株式数 8,386,844株により算出しております。)

### [ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当該四半期の業績は、概ね当初予想に沿った推移をいたしておりますので、中間期及び通期の業績予想につきましては、平成 15 年 11 月 19 日に発表いたしました「平成 15 年 9 月 期 決算短信(非連結)」に記載の予想と、現在のところ変更はございません。

当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以 上